



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第13巻
第9号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第13巻第9号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1967, 13(9): 714-714

ISSUE DATE:

1967-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113197>

RIGHT:



製本

泌 尿 器 科 紀 要

第 13 巻 第 9 号

昭和 42 年 9 月

BNC

随想 極微の世界	安澄権八郎	643
ウレタン誘導体による腎酸素不足耐性増強作用について	奥村 秀弘	645
泌尿器腫瘍と酵素 II 尿路性器腫瘍患者血清 LDH, ALP, LAP, TAP, PAP 活性および LDH isozyme について	石部 知行	665
融合性交叉性腎変位の1例	仁平 寛巳・桐山 哲夫・田尻葵矩夫	676
膀胱腫瘍の浸潤度の診断における二重膀胱造影 (double contrast cystography) の検討 少量の造影剤-Dionosil-を用いた二重膀胱造影	中新井邦夫	681
腎 血 管 腫	黒土 稔・穂坂 正彦・宮井 啓国	690
Pyrodifenium bromide の犬および人尿管筋電図に対する影響	土田 正義・木村 行雄・菅原 博厚・ 加藤 義朋・関野 宏・桑原 正明	695
Pyrodifenium bromide (Padrin) の尿路疾患に対する治験	土田 正義・木村 行雄・ 菅原 博厚・加藤 義朋・関野 宏・桑原 正明	699
泌尿器科領域におけるリリベンの治験	多田 茂・川井 忠・森 脩	703
第14回 国際泌尿器科学会総会印象談	加藤 篤二他	708
編集後記・購読要項・投稿内規		714

Studies on the Increasing Effects of Hypoxia Tolerance in the Kidney Treated with Urethane Derivatives.....	H. Okumura	645
Urological Neoplasms and Enzymes. II. Serum LDH, ALP, LAP, TAP and PAP Activities and LDH Isozymes in Patients with Neoplasms of the Genitourinary Organs.	T. Ishibe	665
A Case of Crossed Ectopic Kidney with Fusion.....	H. Nihira, T. Kiriya and K. Tajiri	676
The Value of Double Contrast Cystography for Staging of Bladder Tumours.....	K. Nakaarai	681
Renal Angioma: A Case Report.....	M. Kurotsuchi, M. Hosaka and K. Miyai	690
Effect of Pyrodifenium Bromide on the Electromyogram of the Ureter in Dog and Man.....	S. Tsuchida, Y. Kimura, H. Sugawara, Y. Kato, H. Sekino and M. Kuwabara	695
Effectiveness of Pyrodifenium Bromide (Padrin) on Diseases of Urinary Tract.....	S. Tsuchida, Y. Kimura, H. Sugawara, Y. Kato, H. Sekino and M. Kuwabara	699
Use of "Riripen" in the Field of Urology.....	S. Tada, T. Kawai and O. Mori	703

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine.
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tokuji KATO

編 集 後 記

8月4日阪大の楠隆光教授が急逝せられた。誠に青天に霹靂のことである。同6日西宮市夙川の東キリスト教会においてしめやかに密葬が行なわれ、続いて9月2日京都ホテルで関西地方会主催の下に追悼の地方会が行なわれた。相会するもの堂に満ち約130名、遺影に黙禱を捧げて故教授を偲んだ。また9月12日には阪大医学部葬が松下講堂で挙行され、阪大大学長を始め泌尿器科学会よりは高安理事長の弔辞があり、全国各地より多数の参列者があり一般献花の下追憶も新たに終了した。

先生は申す迄もなく関西地方会今日の隆昌には特筆すべき功勞者で、同地方会、阪大は申すにおよばずその御逝去は日本の一大損失であり、正に巨星地に落つる感あり、惜別の情禁じ得ず、ここに御生前の学者としての超人的な御研鑽に対して衷心より敬意を表し、併せて御逝去に深い哀悼の意を表します。

次ぎに精子形成について御造詣の深い安澄教授より“極微の世界”という玉稿を頂戴したので巻頭を飾らして戴いた。

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用難字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要, 1: 110, 昭30. 2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第13巻 第9号

定価150円

昭和42年9月25日 印刷

昭和42年9月30日 発行

顧 問 稲 田 務

編集発行人 加 藤 篤 二

発 行 所 泌 尿 器 科 紀 要 編 集 部

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部泌尿器科学教室内

電 話 ㊦ 8111 学 内 5806

印 刷 所 山 代 印 刷 株 式 会 社

京都市上京区寺之内通小川西入